

事業所名：グループホーム浮羽

目 標 達 成 計 画

作成日：2022年 5月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	10・4	コロナ禍で利用者の家族となかなか会えない中、 如何にして家族の意見反映に取り組むか	家族への電話やお便りにて、十分に意見を汲み取る	・毎月郵送している「浮羽便り」に、運営推進会議の議事録も同封し事業所の状況についても報告すると共に、意見をいただけるよう、お便りに一文を加える ・電話にて状況連絡する際にも、ご意見の有無を確認する	2 か月	
2	14	職員等に対する研修について工夫し、充実を図る	職員研修について、楽しく意義のあるものにする	・社協、包括や市図書館からDVDなどを借り、研修に生かす ・ネット動画などの活用も行なう	3 か月	
3	2	コロナ禍で地域との付き合いが減っており、如何にして地域とのつながりを維持して行くか	いずれ可能になる交流へ向けての準備を継続する	・いずれ地域の文化祭に出展できるよう、制作活動を維持していく ・区長・民生委員・文化祭担当者や、運営推進会議委員との連絡を取り合っていく	3 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	☐ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐ ②利用者へサービス評価について説明した
		☐ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐ ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		☐ ⑤その他()
2	自己評価の実施	☐ ①自己評価を職員全員が実施した
		☐ ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐ ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		☐ ⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐ ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		☐ ④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		☐ ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		☐ ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ⑤その他(次回の運営推進会議で評価結果を報告し、話し合う予定である)
5	サービス評価の活用	☐ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		☐ ③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		☐ ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		☐ ⑤その他()